

生物科学学会連合 第 27 回定例会議 議事録

日 時 : 2023 年 3 月 28 日 (火) 15:00~17:10
場 所 : 東京大学農学部 2 号館 1 階 106 号室 (化学第 3 講義室)
東京都文京区弥生 1-1-1 東京大学弥生キャンパス内

出欠状況 :

出席 (加盟団体) : *印は兼任または重複出席者を示す。

運営委員 (副代表ならびに運営委員は候補者)

東原 和成* (生科連 2023-2024 代表)

後藤由季子 (生科連副代表) 宮下 直* (生科連副代表)

小林 武彦* 片山 豪* 原田 慶恵

団体代表

宮下 直* (個体群生態学会)

東原 和成* (日本味と匂学会)

大杉 美穂 (日本細胞生物学会)

野崎 久義 (日本植物形態学会)

竹居光太郎 (日本神経化学学会)

胡桃坂仁志 (日本生化学会)

片山 豪* (日本生物教育学会)

南沢 享 (日本生理学会)

杉村 薫 (日本発生生物学会)

鎌田真由美 (日本バイオインフォマティクス学会)

神田 真司 (日本比較内分泌学会)

岡田 由紀 (日本分子生物学会)

小野 教夫 (染色体学会)

菱田 卓 (日本遺伝学会)

岩崎 秀雄 (日本時間生物学会)

古賀 皓之 (日本進化学会)

宮田麻理子 (日本神経科学学会)

石川 麻乃 (日本生態学会)

渡邊 力也 (日本生物物理学学会)

中川 敦史 (日本蛋白質科学学会)

田中 幹子 (日本動物学会)

永田 崇 (日本比較生理生化学会)

岡部 聡 (日本微生物生態学会)

鏑田 武志 (日本免疫学会)

(計 24 団体)

欠席 (加盟団体) : 日本解剖学会 日本宇宙生物科学会 日本実験動物学会 日本植物学会
日本植物生理学会 日本人類学会 日本組織細胞化学会 日本農芸化学会
日本薬理学会 日本分類学会連合

(10 団体)

(加盟合計 34 団体)

出席 : 大路 樹生 (自然史学会連合)
喜田 聡 (会計監査委員)
小林 武彦* (日本学術会議基礎生物学委員会委員長)
道上 達男 (JBO 運営委員長)
岸本 健雄 (国立沖縄自然史博物館設立準備委員会)

(敬称略、加盟団体名 50 音順)

事務局 東海 春香

議題・報告：

1. 代表挨拶
東原代表より、第 27 回定例会議開催に当たり挨拶が述べられた。
2. 前回議事録確認について
第 26 回定例会議議事録（案）が確認され、原案通り承認された。
3. 副代表ならびに運営委員の選任について
東原代表より、令和 5・6 年度副代表として、後藤由季子氏ならびに宮下直氏、運営委員候補として、小林武彦氏、片山豪氏、原田慶恵氏が推薦され、協議の結果、原案通り承認された。引き続き副代表および運営委員よりそれぞれ挨拶が述べられた。
4. 会計監査委員の選任について
東原代表より、令和 5・6 年度会計監査委員候補として、丹羽隆介氏ならびに喜田聡氏が推薦され、協議の結果、原案通り承認された。
5. 令和 4 年度事業報告について
東原代表より、資料に基づき令和 4 年度事業報告について、定例会議および運営委員会の開催、各種委員会などの活動の報告がなされた。
6. 令和 4 年度会計報告について
事務局より、資料に基づき令和 4 年度決算報告について、ほぼ例年通りの決算内容となり、当期収支差額が約 19 万円の黒字となったことが報告された。引き続き、東原代表より時節柄シンポジウムが現地開催できないことなどを受け、次年度繰越金が年々増えているため、イベント開催費用や生物教育・大学入試問題検討委員会で使用する高等学校生物の教科書代として支出を検討していると補足がなされた。加えて、運営費の見直しを検討していると説明がなされた。
7. 令和 5 年度事業計画について
東原代表より、資料に基づき令和 5 年度事業計画について、例年通り定例会議、運営委員会、パンフレット作成を行うと説明がなされた。また、各種委員会の委員長より令和 5 年度活動内容の説明がなされた。研究費・人材育成委員会においては、日本分子生物学会から研究費問題を委員会へ挙げて検討、生物教育・大学入試問題検討委員会においては 3 年間続けてきた大学入試試験「生物基礎」及び「生物」における用語の扱いに関する調査を一旦中断すること（また、昨年度の調査報告も行った）と生物重要用語の検討、地球生物プロジェクト委員会においては高校生 生きものの“つぶやき”フォトコンテスト、シンポジウムの開催を計画している旨の説明がなされた。審議の結果、令和 5 年度事業計画は原案通り、承認された。
8. 令和 5 年度予算案について
事務局より資料に基づき令和 5 年度予算案について、昨年同様の内容で作成しているが、生物教育の教科書または指導書の購入により活動費の支出が増える可能性があるとの説明がなされた。審議の結果、令和 5 年度予算案は原案通り、承認された。
9. 関連国際会議について
日本遺伝学会より、7 月開催の国際遺伝会議について周知がなされた。
その他、周知したい情報がある場合、運営委員や事務局宛に連絡して欲しいと依頼がなされた。

10. IBO・JBO（国際生物学オリンピック）について
道上達男国際生物学オリンピック日本委員会運営委員長より、日本生物学オリンピックについて、3月19日に最終選抜試験が行われ、日本代表を決定したと報告がなされた。また、IBO2023（UAE、アル・アイン）で対面での開催が決定しており、日本から選手4名、Jury8名が参加予定と説明がなされた。
11. 研究費・人材育成委員会について
後藤副代表（委員長）より、令和5年度事業計画で説明した通りの旨、報告がなされた。
12. 生物教育・大学入試問題検討委員会について
片山委員長より、高等学校の生物教育における重要用語のリストアップ後、生科連版用語集の作成を進めていく旨、また生物を選択してもらるように生物学の魅力の伝え方について考える上でカリキュラムに関するシンポジウムを検討している旨、説明がなされた。出席者より、大学入試試験「生物基礎」及び「生物」における用語の扱いに関する調査を基に生科連としての大学入試センターへ要望提出の意見が出された。運営委員会および生物教育・大学入試問題検討委員会にて検討することになった。
13. 地球生物プロジェクト委員会について
宮下副代表（委員長）より、昨年に引き続き高校生 生きものの“つぶやき”フォトコンテストを開催するが、フォトコンテストの告知方法については、検討していくと説明がなされた。また、令和5年開催のシンポジウムについて、生物学の魅力伝える話題があれば提供していただくよう依頼がなされた。
14. 学術集会デジタルコンテンツのアーカイブ化に関して
日本生理学会より、情報提供依頼を行った経緯について説明がなされた。加盟団体より提供いただいた情報を参考にして、講演受諾契約書を作成することになったと報告がなされた。
15. 会長共同声明について
東原代表より、会長声明「日本学術会議法の性急な改正について再考を求める」について説明がなされた。結果として、今期の国会による法案成立はせず、次期日本学術会議会員の選考は今まで通り行われると報告がなされた。
16. 生物科学学会連合から報道機関関係者の方々へのお願い
後藤副代表より、「生物科学学会連合から報道機関関係者の方々へのお願い」を主要メディアに流した経緯および結果について報告がなされた。
17. 日本学術会議について
小林基礎生物学委員会委員長より、日本学術会議法の性急な改正について補足説明がなされた。
18. 国立沖縄自然史博物館の設立活動について
岸本健雄国立沖縄自然史博物館設立準備委員会代表理事より、資料に基づき国立沖縄自然史博物館の設立に向けた取り組みの進捗状況について報告がなされ、引き続き加盟団体への協力依頼がなされた。

以上